令和９年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

令和８年11月13日

上場会社名　　日本基礎技術株式会社　　上場取引所　東
コード番号　　1914　　URL　https://www.jafec.co.jp
代表者　　（役職名）取締役社長　　（氏名）中原　巖
問合せ先責任者　（役職名）専務取締役執行役員　事務管理本部長　（氏名）田中　邦彦　　TEL　03-5365-2500

半期報告書提出予定日　　令和８年11月13日　　配当支払開始予定日　－
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無　　：無

（百万円未満切捨て）

１．令和９年３月期第２四半期（中間期）の連結業績（令和８年４月１日～令和８年９月30日）

（１）連結経営成績（累計）　　（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
９年３月期中間期	14,229	8.4	1,504	87.4	1,609	52.1	792	8.0
８年３月期中間期	13,121	△9.1	802	△31.9	1,058	△7.1	734	△28.4

（注）包括利益　９年３月期中間期　1,190百万円（5.2%）　８年３月期中間期　1,131百万円（△25.6%）

	１株当たり中間純利益	潜在株式調整後１株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
９年３月期中間期	43.33	－
８年３月期中間期	39.27	－

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
９年３月期中間期	41,300	25,373	61.4	1,385.67
８年３月期	38,548	24,718	64.1	1,351.37

（参考）自己資本　　９年３月期中間期　25,373百万円　　８年３月期　24,718百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
８年３月期	－	0.00	－	30.00	30.00
９年３月期	－	0.00			
９年３月期（予想）			－	30.00	30.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

３．令和９年３月期の連結業績予想（令和８年４月１日～令和９年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	32,300	18.1	1,820	25.0	2,060	△1.6	1,510	△9.0	82.49

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※　注記事項

（１）当中間期における連結範囲の重要な変更：無
　　新規　ー社　（社名）、除外　ー社　（社名）

（２）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
　①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：無
　②　①以外の会計方針の変更　　：無
　③　会計上の見積りの変更　　：有
　④　修正再表示　　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	９年３月期中間期	29,346,400株	８年３月期	29,346,400株
②　期末自己株式数	９年３月期中間期	11,035,211株	８年３月期	11,054,766株
③　期中平均株式数（中間期）	９年３月期中間期	18,299,982株	８年３月期中間期	18,697,849株

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、【添付資料】Ｐ．２「（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当中間期の経営成績の概況 …… 2
（２）当中間期の財政状態の概況 …… 2
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 2
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 3
（１）中間連結貸借対照表 …… 3
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 5
中間連結損益計算書 …… 5
中間連結包括利益計算書 …… 6
（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書 …… 7
（４）中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 9
（会計上の見積りの変更に関する注記） …… 9
（中間連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理） …… 9
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 9
（継続企業の前提に関する注記） …… 9

１．経営成績等の概況

（１）当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続いており、景気は緩やかに回復基調で推移したものの、中東情勢の影響や物価上昇の継続などにより、依然として景気の先行きは不透明な状況になっております。

この間、国内建設業界においては、公共投資は底堅く推移し、民間投資も持ち直しの傾向がみられたものの、建設資材価格や労務費の高騰に加え、建設業従事者の高齢化と人材確保の問題などにより、業界を取り巻く環境は、厳しい状況が続いております。

かかる中、当社グループは、今年６月に策定した中期経営計画(2026年度～2028年度)に基づき、具体的な施策①「高齢化対策と若年者の入職助長」、②「付加価値技術の早期展開による業績拡大」に、全社を挙げて取り組んでいます。

当中間連結会計期間の業績におきましては、当社においては、着工時期の先送りや受注競争の激化などにより、計画を下回る支店がみられたものの、札幌支店管内において電力関連の大型工事の施工が順調に進捗したことにより、売上高は前年同期に比べ３億28百万円増の97億16百万円、営業利益は前年同期比２億24百万円増の７億93百万円となりました。

また、米国現地法人においては、完成工事で利益の積み増しができたことに加えて、LNG精製プラント基地地盤改良工事での追加工事を続けて着工できたことから、売上高および利益が昨年を大きく上回りました。この結果、連結売上高は142億29百万円（前年同期比11億８百万円増）、連結営業利益は15億４百万円（同７億２百万円増）、連結経常利益は、為替差損87百万円の影響があったものの、受取配当金の増加などがあり、16億９百万円（同５億51百万円増）となりました。

しかしながら、親会社株主に帰属する中間純利益は、米国現地法人において発生した交通死亡事故の和解金として支払われる訴訟損失引当金繰入額４億79百万円を計上したことから、７億92百万円（同58百万円増）となりました。

（２）当中間期の財政状態の概況

（資産）

当中間連結会計期間末の総資産の残高は、前連結会計年度末に比べて27億52百万円増加し、413億円となりました。その主な要因といたしまして、未成工事支出金が増加したこと等によるものであります。

（負債）

負債の残高は、前連結会計年度末に比べて20億97百万円増加し、159億27百万円となりました。その主な要因といたしまして、短期借入金が増加したこと等によるものであります。

（純資産）

純資産の残高は、前連結会計年度末に比べて６億55百万円増加し、253億73百万円となりました。その主な要因といたしまして、利益剰余金及び為替換算調整勘定が増加したこと等によるものであります。

この結果、当中間連結会計期間末の自己資本比率は61.4％となり、前連結会計年度末と比べて2.7ポイントの低下となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点においては、令和８年５月14日に公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

２．中間連結財務諸表及び主な注記

（１）中間連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （令和８年３月31日）	当中間連結会計期間 （令和８年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金預金	5,296,497	5,157,663
受取手形・完成工事未収入金等	8,388,758	8,347,014
有価証券	540,729	552,775
未成工事支出金	2,769,735	6,085,492
材料貯蔵品	106,907	105,566
その他	80,335	238,784
貸倒引当金	△16,000	△17,000
流動資産合計	17,166,964	20,470,296
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物（純額）	3,930,498	3,862,378
機械・運搬具（純額）	4,029,851	3,780,553
土地	4,595,346	4,584,089
建設仮勘定	3,150	3,000
その他（純額）	166,531	142,066
有形固定資産合計	12,725,378	12,372,087
無形固定資産	197,640	156,266
投資その他の資産		
投資有価証券	7,341,474	7,345,751
その他	1,119,579	958,811
貸倒引当金	△2,218	△2,218
投資その他の資産合計	8,458,835	8,302,344
固定資産合計	21,381,855	20,830,698
資産合計	38,548,819	41,300,995
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	2,123,739	2,041,531
短期借入金	2,900,000	5,200,000
１年内返済予定の長期借入金	892,000	892,000
未払法人税等	396,217	340,383
未成工事受入金	1,161,751	1,844,411
賞与引当金	620,000	269,085
完成工事補償引当金	3,000	3,000
工事損失引当金	123	9,172
訴訟損失引当金	－	491,767
その他	1,097,808	708,531
流動負債合計	9,194,640	11,799,881
固定負債		
長期借入金	3,122,000	2,676,000
その他	1,513,377	1,451,843
固定負債合計	4,635,377	4,127,843
負債合計	13,830,017	15,927,724

（単位：千円）

	前連結会計年度 （令和８年３月31日）	当中間連結会計期間 （令和８年９月30日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,907,978	5,907,978
資本剰余金	5,519,025	5,522,004
利益剰余金	15,825,620	16,057,119
自己株式	△5,576,351	△5,566,539
株主資本合計	21,676,273	21,920,563
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,899,836	3,926,625
土地再評価差額金	△680,880	△668,258
為替換算調整勘定	△225,295	145,446
退職給付に係る調整累計額	48,867	48,892
その他の包括利益累計額合計	3,042,527	3,452,707
純資産合計	24,718,801	25,373,270
負債純資産合計	38,548,819	41,300,995

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

（中間連結損益計算書）

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自　令和７年４月１日 至　令和７年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　令和８年４月１日 至　令和８年９月30日）
売上高		
完成工事高	13,121,877	14,229,069
売上原価		
完成工事原価	10,897,502	11,312,601
売上総利益		
完成工事総利益	2,224,374	2,916,467
販売費及び一般管理費	1,421,762	1,412,014
営業利益	802,611	1,504,453
営業外収益		
受取利息	7,520	8,417
受取配当金	204,995	226,650
為替差益	51,224	－
その他	31,093	23,540
営業外収益合計	294,833	258,608
営業外費用		
支払利息	27,122	58,896
為替差損	－	87,019
支払手数料	3,660	780
その他	8,647	7,244
営業外費用合計	39,430	153,940
経常利益	1,058,015	1,609,120
特別損失		
固定資産売却損	－	512
固定資産除却損	－	456
訴訟損失引当金繰入額	－	479,234
特別損失合計	－	480,203
税金等調整前中間純利益	1,058,015	1,128,917
法人税等	323,676	336,046
中間純利益	734,338	792,870
親会社株主に帰属する中間純利益	734,338	792,870

（中間連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自　令和７年４月１日 至　令和７年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　令和８年４月１日 至　令和８年９月30日）
中間純利益	734,338	792,870
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	710,077	26,788
為替換算調整勘定	△312,391	370,742
退職給付に係る調整額	△913	24
その他の包括利益合計	396,771	397,556
中間包括利益	1,131,110	1,190,427
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	1,131,110	1,190,427
非支配株主に係る中間包括利益	－	－

（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自　令和７年４月１日 至　令和７年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　令和８年４月１日 至　令和８年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	1,058,015	1,128,917
減価償却費	587,085	686,351
貸倒引当金の増減額（△は減少）	4,000	1,000
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	△16,814	△1,964
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	△1,500	－
賞与引当金の増減額（△は減少）	△267,000	△352,343
工事損失引当金の増減額（△は減少）	232	9,049
訴訟損失引当金の増減額（△は減少）	－	479,234
受取利息及び受取配当金	△212,515	△235,067
支払利息	27,122	58,896
為替差損益（△は益）	△608	96,299
固定資産除却損	2,774	1,482
売上債権の増減額（△は増加）	△1,279,082	144,135
未成工事支出金の増減額（△は増加）	△294,835	△3,163,289
棚卸資産の増減額（△は増加）	△6,371	1,340
仕入債務の増減額（△は減少）	376,971	△100,029
未成工事受入金の増減額（△は減少）	809,883	660,026
その他	△58,012	△370,064
小計	729,345	△956,026
法人税等の還付額	－	7
法人税等の支払額	△156,636	△339,007
営業活動によるキャッシュ・フロー	572,708	△1,295,027
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△21,212	△21,215
定期預金の払戻による収入	21,212	21,213
保険積立金の解約による収入	17,832	215,198
有形固定資産の取得による支出	△624,072	△549,878
有形固定資産の売却による収入	100	5,074
無形固定資産の取得による支出	△22,118	△980
有形固定資産の除却による支出	－	△270
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△20,320	△23,838
有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入	420	3,005
貸付けによる支出	△600	－
貸付金の回収による収入	3,625	2,244
利息及び配当金の受取額	212,477	235,051
投資活動によるキャッシュ・フロー	△432,655	△114,394

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自　令和７年４月１日 至　令和７年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　令和８年４月１日 至　令和８年９月30日）
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	1,200,000	2,300,000
長期借入れによる収入	660,000	－
長期借入金の返済による支出	－	△446,000
リース債務の返済による支出	△59,906	△46,240
自己株式の取得による支出	△663,793	△167
配当金の支払額	△459,098	△542,183
利息の支払額	△24,348	△54,296
財務活動によるキャッシュ・フロー	652,853	1,211,111
現金及び現金同等物に係る換算差額	△96,995	58,881
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	695,910	△139,428
現金及び現金同等物の期首残高	4,040,585	5,239,631
現金及び現金同等物の中間期末残高	4,736,496	5,100,202

（４）中間連結財務諸表に関する注記事項

（会計上の見積りの変更に関する注記）

当社の米国子会社であるJAFEC USA,Inc.における交通事故に係る損失について、従来、損害賠償請求が係争中であり、損害賠償額を合理的に見積もることが困難であったことから、訴訟損失引当金を計上しておりませんでした。

当中間連結会計期間において、当該訴訟の進捗等に伴い新たに入手した情報を踏まえ、損害賠償額及び保険による補償額について見積りの見直しを行った結果、保険による補償額を超える損失が発生する可能性が高まったことから、訴訟損失引当金491,767千円を計上しております。

この結果、当中間連結会計期間の税金等調整前中間純利益は479,234千円減少しております。

（中間連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理）

（税金費用の計算）

税金費用の計算については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。ただし、見積実効税率を用いて計算すると著しく合理性を欠く場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。